

創刊号

昭和30年9月10日発行



発行所 高萩市役所
編集 農林課
印刷 藤枝印刷所

發刊にあたって

高萩市長 小峰 威 夫



新生活運動が時の合言葉になってきたが、今更こと新しくとりあげられたわけではなく、数年或は数十年前からくりかえし唱えられて来たものでありまして、精神的に又経済的に困窮のときに際会した場合特に提唱されるのではないかと思われ
ます。
勿論われわれの生活様式を改善することは何れの方面からみても之に反対すべき理由はなく比較的無理のない方策と思われるので新生活運動を政府や県が大きくとりあげたことに對しては賛意を表するわけで、むしろ今の日本には、どうに必要のことであるし現在の困難な経済事情からみても、また複雑な国際情勢からみても着実な生活態度を築き上げることがますます必要ではないでしょうか。
新生活運動がただ掛声でなしに眞の自発的運動として最も適切に且つ有効に市内のすみずみまで推し拡げられ実践されて精神的にも物質的にも豊かな生活が、そして明るく住みよい社会が生れることを念願するものであります。

高萩市が本年度より新生活モデル市として県の指定になり皆様の御協力のもとに本運動を強力に推進することになったのであります。本運動を側面から助ける機関紙、そして下から盛りあがる皆様の声の発表や新しい出来事の機関紙としてこのたび「高萩市生活改善」が発刊されるに至りましたことは誠に意義深く御同慶に存じますところでありませう。
蓋し生活改善によりわれわれは一切の無駄を省き冗費節約の果が挙げ得られるばかりでなく同時にまた活動能率増進の上にも資するところまことに大でありまして本機関紙が本運動の目的達成の上にも羅針盤の役割を果すことが出来ませうれば此の上もなく喜びに堪えない次第であります。
新しく生れた生活改善紙を通じて市民の皆様としっかりと手を取りあつて新生活運動を強力に推進して参りたいと存じますので皆様の御協力と御支援を切にお願い致しまして発刊の御挨拶といたします。

創刊を祝して

高萩市婦人団体連絡協議会長 大 高 和

国民の生活と国家経済の爲に新生活運動が如何に大切な事かは論をまたず、政府としましては新生活運動を展開し押し進められておる現状で御座居ます。
此度高萩市に於かれましては尙早く生活改善の機関紙を発行されました事は誠に時宜に適した事と心から御喜びに絶えない次第で御座います。
この機関紙が一回毎に市民の各家庭に浸透し家庭生活の合理化と豊かな生活を作り明るい住みよい市の建設に大きく役立つ事と確信いたします。
御紙の創刊を心から祝福し将来の御発展を御祈り申上ります。

生活改善への心がまえ

高萩市教育長 沼田 敏 満

民主的な社会を形成し新日本を建設するためには、封建的な制約のもとに、無反省な生活に甘んじて来たわれわれの生活に、大巾な改善を要することは当然である。茨城県において、他県に先んじて数年前から生活科学化運動を実施したことは、まさに卓見というべく、本年夏は國の新生活運動にも呼応することとなり、わが高萩市においても、県の指定モデル市として新生活運動を推進することになったのは喜ばしい次第である。
しかし生活改善は机上の計画通り行われるものではなく、また一朝一夕にその効果を望むことも期待できない。そこに國の新生活運動も、市町村の推進運動も、野面倒れ、經費倒れに終るのではないかと、懸念を持たれる所以があると思ふ。そこでわれわれは、生活改善の基礎をどこに置かうかという事を真剣に考へるべきだ。私はこれを個人の自覚に求めたい。自覚に立たない生活改善は絵にかいた餅に等しいといつて誤であらうが、

台所を改善した、風呂場を改造した、等、等。これ等も勿論生活改善の一端であるにちがいない。しかしこれらが、人真似的に行われて、自覚に立つ生活設計によるものでなかったら、決して生活改善とはいへない。またこのような改善は、各人の生活様式の相違、経済力、環境その他の諸條件に支配されて実施できない向も少くないはずである。だから私は各個人が自覚して自己の生活に即した而も適切な改善に心がけなければ突効を期し得ないと思ふ。時間を離れた生活はあり得ない。生活改善の大きなねらいの二つは時間と努力の節約である。時間勵行などは末節だといふ人もあるが、私は時間勵行ができないような人に何の生活改善ができてようぞといいたくない。生活改善の本義を十分に自覚した人ならば、時間を勵行せずにはおられない筈であり、形式的な外面的な改善よりも、本質的な精神的な生活改善に努力するにちがいない。

▽この機関紙は隔月に発行する予定ですが原稿の都合で變更することがあります。

▽部落懇談會地域団体の集會等に御利用下さい。

▽機関紙は保存しておきましよう。

高萩市の人口及び世帯数

（八月一日現在）

男	一五、五四九	商	業	六五〇
女	一五、八二四	サ	ービス業	三〇一
計	三一、三七三	運	輸業	二四二
世帯数(職業別)		金	融業	二八
農	一、七七一	そ	の他	八九六
鑛	一、四一二	計		六、五四八
工	一、二四八			

昭和三十年度生活科学化推進要項

(茨城県)

本県における生活科学化運動は、すでに數年來、衣食住、保健衛生、生活行事の改善合理化に、相当の実績をあげてきたが、昭和三十年においては、左に掲げるところにより、一層強力に推進し、福祉茨城の建設をはかる。

- 一、県民の福祉を増進するため、各部門をあげて、生活環境改善の県民運動を展開する。
- 二、家庭経済の充実と、その確立を期するため、適正家族計画、消費合理化、生産の向上をはかる。
- 三、食生活の改善合理化を強力に推進するため、栄養を基盤に粉食、特殊食品等の奨励、特に学校給食、牛乳飲用、優良山羊の増殖等についての適切な措置を講ずると共に、飲料水に関する諸問題の改善を期する。
- 四、冠婚葬祭等の生活行事を簡素合理化し、極力冗費の節約をはかり、健全娯樂の振興を企図する。
- 五、生活科学化指定市町村の地域活動を活発にし、住民の熱意を一層高めると共に、更に指導班を強化して、大いにその推進をはかる。
- 六、前各号推進のための基礎となる調査研究は、科学技術研究所において行い、更にその成果を挙げるように努める。
- 七、市町村科学技術研究会に対しては、十分な援助協力に努め、生活科学化運動の成果を、市町村行政に反映する。

生活科学化とは

茨城県知事室生活科学課

農家の人たちは夏の日盛りに、湯のように煮えた田につかかって除草をします。この行事は、稲の根株をかりて、根を刺激し成育を促すと共に、稲の発育の妨げとなる雑草を、取り除くたいせつな夏の農作業です。生活科学化も、この除草と同じです。私たちは、生活の除草をしなければなりません。もし、生活に新しい時代の空気を通わせ、ムダを省くことを怠ったとすれば、生活はゆがめられ、すく／＼と育つことはできません。

生活の中からムダを除き、新しい伝統を築き、よい習慣をつくってこそ、明るい豊かな生活をもたらすことができるのです。そして、それが、家庭から隣近所へ、部落や町内へ、ひいて村や町へとおし拡げられ、私たちの住む地域社会全体が合理化されてゆくのではないでしようか。古い伝統の中に、複雑な社会生活を営む私たちが、その生活を科学化することで、は、もちろん容易なことではないでしよう。しかし県民の全部が、自分の足もとから一つ一つ改善して行けば、決して不可能ではありません。生活科学化といい、生活改善というのも、要は生活を営む県民自身の心がまよと、どのようにこれを実行するかにあるのです。百のお題目をならべても、実行が伴わなければ、生活の向上はありません。ただ、特に留意したいことは、生活科学化とは、社会生活の合理化とか家庭生活の合理化とか生活行事習慣等の、改善と云ったような堅苦しく形式的な改善だけを指すものではありません。これらが総合され消化されて、生活全般が合理化され、喜びにあふれた明るい家庭生活が築かれ、福祉にみちた社会が造られることを期待するものであります。たとえば、台所の棚に置かれた一茎の草花、夕食後のラジオに一刻を過す家庭困らんの姿の中にこそ、生活を科学化されてゆくのであります。

今日の行事

△八月十一日

食生活改善モデル部落では高萩地区農業改良相談所齋藤普及員を招いて代表者荒川千代さん宅で料理講習会を開いた。

△八月十二日

高萩地区家庭クラブ(高萩高校)高萩婦人会、衣生活モデル部落の会員等約七十名が高萩公会堂に参集して野良齋と家庭齋の展示並びに発表会を午前九時より開催、引続いて母子の座談会を行い活潑な意見も出て盛會裡に午後二時終了した。

△八月十六日

衣生活改善モデル部落では高萩婦人会大高会長丹副会長助友家庭部長を招いて衣生活改善実践方策について協議懇談した。出席会員二十五名、市から棚谷主事が列席した。爾後毎週日曜の午後一時から縫裁実習会を代表者宅に開催することに決定した。

△八月二十二日

午後一時より高萩婦人会

△八月二十六日

住生活改善モデル部落では代表者鈴木重忠氏宅に部落員を集めて今後の実行方法其の他について協議した。

△八月二十七日

高萩市、高萩市教育委員、高萩商工振興会共催で高萩高等学校講堂に化学繊維の講習と映画の会を開催した。

△八月二十九日

茨城県知事室生活科学課では新生活普及推進係長長尾主事を派遣して下君田住改善モデル部落の実態を調査した。

△八月二十九日

茨城県知事室生活科学課では新生活普及推進係長長尾主事を派遣して下君田住改善モデル部落の実態を調査した。

手近な台所の工夫

下君田住改善

モデル部落を訪ねて……

高萩市が県の新生活モデル部落として指定した下君田部落は……

戸数 八〇戸
人口 三七四人
内農家戸数 七〇戸
耕作面積 二八町五反

農家的の住改善戸数 七〇戸(殆んど農家)
内かまど改善戸数 三七戸(本年度七戸)
風呂改善 二三戸(本年度六戸)
合所改善 四四戸(本年度八戸)
新築及改増築 八戸(本年度三戸)

井戸設置 二十基(本年度七基)
と云う新生活を地で行く模範部落である。

八月二十九日県生活科学課長尾普及推進係長と下君田部落を訪問した。部落の方々は県より係官が来ると云うのでいち早く下君田公民館に全員集まって待機していた。午前十一時到着、約二時間に亘って現在までの

概況を聴取、今後の改善方法等について長尾係長の指導を受けた後、意見の交換をして個々の改善状況を見て貰った。

従来家庭の台所は主婦さえ不自由がまんすればどこでも間に合うと一種のあきらめにも似た考えで無視されていたが、これはいつになったら農村が文化的な生活が出来るだろう。農村の働く人々の生活を現在よりもより良く向上させて行かなければならない。そのためは住みよき、働きよき、暮しよき生活環境を与えることである。それにはまず衣食住を中心とした生活文化を築きあげなければと、終戦によって故郷へ帰った鈴木重忠さんは、暗い台所やかまどを改善して主婦の労力を少なくすると共に調理炊事も楽しくできるようにと昭和二十四年に部落で一番早く改善をされ、折にふれ部落各戸の環境に応じた台所やかまど改善の

普及啓蒙に努めて来たのでありました。其の努力の甲斐あってか今では前記のような成績が収められ全戸が改善されようとしているのであります。

鈴木さんの目標は只台所やかまどの改善にのみとまらずかまど改善と併行して食生活の改善、即ち粉食の奨励に伴うパンかまどの設置や暖房の設備及び台所の改善と併行して井戸の設備を奨励して衛生の普及に盡されて来たのであります。

鈴木さんは住生活改善について明るい希望と熱意のある言葉で次の様に語った。何十年振りか故郷へ帰って来てみて農家の住生活の不合理的さをつくづくと感じさせられた。農村の生活改善といえばまず台所改善、そしてかまどの改善が第一だと考えたので自分の台所とかまどを改善してみた。

保健衛生の改善としては飲料水に河水を利用していたのを堀井戸に切替えた。パン食も暖房設備も年次計画で実施して来た

皆さんに褒めなくとも良いと自覚すればみずから実行するようになる。下から盛り上げる声、そうした気運を醸成することが新生活運動を推進させるには最も大切なことではなからうかと思ふ。

幸い当部落は各家庭が自覚して財政的に許す範囲内で台所、かまど、井戸、風呂改善と、改善されて参りました事は本当にうれい。何も同じ形式で立派なタイルやレンガ造りで築くことが台所改善と云うのではない、暗い台所をできるだけ採光のよいよう窓を造るとか使いやすいように棚や戸棚を施設するとか、主婦の動き易いように台所を合理化するとか、せめて流しだけでも使いやすいようにするとかそ

れん、自分自身で工夫して手づから作ることも立派な生活改善ではなからうか。特に農家では改善したいことは野良からきて足を洗わずすぐ夕食の用意にかゝれるより土足で調理炊事のできるよう、食事も土間で簡単にすませる工夫が必要だと思ふ。

こうしたこととも部落の深い認識によつて次々と改善されておるので今後は便所の改善、堆肥舎の改善等衛生的改善から居間の改善、屋根の改善等住改善に重点をおき逐次食改善、衣改善と身近かなものから徐々に改善して行きたい。

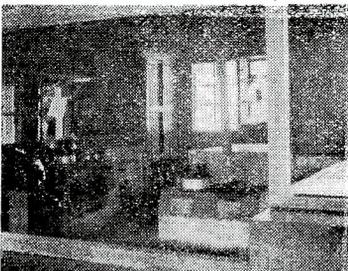
下君田部落の七〇パーセントに近い住改善が出来たことは公民館を中心とした婦人会の活動と青年団の温ま

しい熱意と努力による活動が大きな力となっていると顔を紅潮して語る鈴木さんの真剣な態度に、何かしら胸を打たれるものを感じた。

高萩駅から五里という山間の部落をこんなにも立派な生活文化を築き上げたたゆまざる努力に対し心から感謝の意を捧げると同時にますます御発展されんことを祈って皆さまと別れをつけた。

(編集部欄谷)

【寫眞説明】



下君田住生活モデル部落
鈴木重忠さんの改良カマド



下手綱食生活モデル部落
料理講習会風景



衣生活改善家庭と
野良藪の考案発表



發刊にあたって

秋山 大都 直輝

今回高萩市新生活運動の一助として機関紙の発行されることになり、生活改善運動に一步前進し且つ実行の期に当り十分役立つことと信じてペンを取り私の私見を發表したいと存じます。

私達の生活で一番大切なことは生活の安定と向上と云うことであります。私達の生活を安定し向上させる為には生活の基礎となる職業と事業が安定し繁栄することが必要ですが、更に大きくは日本経済が健全な姿で発展することがより必要なこととす。現在の日本経済にとつて何が最も大切なことであるか問題はいろいろありましようか私はお金の価値を安定させることが第一だと思います。終戦以来御承知のように日本の物価は絶え間なく上ってきました。大体戦前一円の品物は現在三百五十円出さないと買えないという状態です。これは結局お金の価値が戦前の三百五十分の一になつたといふことです。この様にお金の価値が下ると日本経済のあらゆる面に非常に悪い影響をあたへますが個人の生活では収入が物価につれて増加しないと今迄通りの生活が出来ないことになりま。また貯金をすると云うお金の価値が下ると云う心配から貯蓄も振わなくな

ります。貯蓄がないと個人生活が安定しないばかりでなく日本経済にとつてもその発展に必要な資金が蓄積できないことになりま。そこでお金の価値を安定させ、日本経済を健全な姿に立ち直すには合理化といふことを徹底しなくてはなりません。政府は財政を合理化して少ない支出で能率をあげ出来るだけ税金を減らし企業に事務や作業を合理化して安い原価で優秀な品物を作り国民の生活を豊かにする。各家庭では物の買入方、使い方も合理化して収入の中のがしかを残して貯蓄する。この政府と企業と家計の三つの合理化が最も重要な点でこれらの三つはお互いに密接な関連があつてどれが欠けても十分な効果はあがりません。ところで御主人や奥様方に一番関係の深い消費生活の合理化はどうなつて居るでしょうか最近ではデフレで物価の上の方が止まりお金の価値は幾分落着いてその結果貯蓄も増して来て居ります。この様な状態になつたのは今買なくてもこれか先もつと安くなるかもしれないと云う気持ちが出て一般の人が買控たことが、もっとも大きな原因です。然し物の買控といふことは一時的なことですからデフ

レで今まで多くの人が費した努力と犠牲が本当に効果がある様にする為には私達の生活をもつと廻下げて生活内容をより以上豊にしながら生活を節約して貯蓄も出来ることと云う積極的な解決方法を考えることが必要です。それでこそ安くて豊かな生活が出来るわけですから上の様な観点から個人の消費生活についてその原則的な衣、食、住の面よりとりあげ、どうしたら家計の節約と生活改善の向上が出来るかと云う具体的な考へ方と方法を研究することに致しまし。昔ながらの不慣れた住宅と洋合せた二重の衣食生活をいかに化学的に文化的に合理化された新生活に切りかえるべきか等を十分研究努力して、日常の生活を一步一歩向上させることにお互が協力して明るい家庭を作り上げましよう。次刊より引続き其の細部に付いてペンを取らせて頂きたいと存じます。いわずもがなの事ですが主婦の皆様方がこの趣旨を十分心にきみとられ御主人の協力を仰ぎ生活の合理化に一層工夫をこらし新日本建設の為、小さくは御家庭繁栄のため御努力あらんことを機関紙発行の御祝と共に切にお願いしてやみませ

自家用に山羊を飼いましう

高萩地区農業改良相談所主任 橋本 武男

今から二〇年前には乳用山羊を飼つて居たのは高萩の金沢さんの営業用と病人のある二三の家庭に過ぎなかつた。そして物好きな人が山羊を飼うと病人が出ると陰口を云われたものであつた。山羊を飼うことによつて病人が治るならどうして健康な家庭で飼うのが悪いのだらう。病人の居ない家庭で山羊を飼へば病気になるのは確かである。この理由が二〇年前には判らなかつた。それが現在はどうなつて居るか、どの部落に行つても山羊の姿を見かけない処はない。二〇年の年月は山羊をして真実の家庭の動物とし山羊は畜産を離

成分表を開いて見ると

山羊乳	三三・三	三六・四	三・一	三・七
人乳	三三・一	三三・七	三・一	三・七
豚乳	三三・〇	三三・四	三・一	三・五
牛肉	三三・四	六五・〇	二・二	三・〇
まぐろ	二七・〇	一〇・〇	〇・六	〇・六
白米	三三・四	〇・八	七・七	〇・四

れて家庭の生活改善の一部門と普及をして居る。では此の山羊乳にはどんな効能があるのでしょうか。

カロ蛋白 脂肪 糖質 リン 質

山羊乳 三三・三、三六・四、三・一、三・七、
人乳 三三・一、三三・七、三・一、三・七、
豚乳 三三・〇、三三・四、三・一、三・五、
牛肉 三三・四、六五・〇、二・二、三・〇、
まぐろ 二七・〇、一〇・〇、〇・六、〇・六、
白米 三三・四、〇・八、七・七、〇・四

となつて居り牛乳より稍濃となつて居ることが出来る。今日と云うことが出来る。今日一日に一升位搾れて一年に二石位とすると、一合十円にしても二万円の乳を飲むことになるし、カローリで

豚肉と比べると豚肉一〇〇匁一六〇円として六万九千六百円蛋白質だけの比較でもマゲロなら百匁五〇円にして六千一、百五十円となる。亦我々が毎日食べている白米に比べてもカローリだけの計算で四斗六升と云うことになる。

どう云う上流家庭であつても一年に豚肉を四三・五〇〇食べたり或はマゲロのサンミを二二・五〇〇匁買つては無いでしょうか。それが一日一升出る山ぎのその乳を家族中で飲むことにより価値が出るのです。これを考えたらどうしても山ぎを飼いたくありません。そして一度置いた人は十年も二〇年もつづいて置くことになるのです。そして知らず知らずうちに現金支出が少なくなつて家族健康になり愉快に働き勉強も出来て一家幸福の基礎となつて参ります。こゝで生活改善の第一歩は「先づ山ぎ一匹の飼育から」と叫びましよう。

常識

編集部 わたし達の反省

○戦としての八月十五日、敗戦して満十年になりましたが、この十年間の動きを皆様が心静かに振り返つてみて、どうして、どうして、このように植民地らしい社会になつてしまつたか、集団民族的なあらゆる國民的なつなかりをばらばらにして「骨抜き」にしてしまふような「占領政策」がなぜ行われたでし

○生きて行くための目的が失われてもなおかつ生活出来るというところは他國の援助によるもので、この援助をあたへずるに養育心が知らず知らずにもなされたこと、これはとりもなをさず独立心が失われ

○生きて行くための目的が失われてもなおかつ生活出来るというところは他國の援助によるもので、この援助をあたへずるに養育心が知らず知らずにもなされたこと、これはとりもなをさず独立心が失われ

○生きて行くための目的が失われてもなおかつ生活出来るというところは他國の援助によるもので、この援助をあたへずるに養育心が知らず知らずにもなされたこと、これはとりもなをさず独立心が失われ

新生活モデル市に

指定されて

（高萩市役所）

科学は日常生活の能率を高めてその無駄を省き、個人とともに社会も富み、結局子どもに愉快な生活をもたらしてくれます。

私どもの日常生活が真に科学の恩恵に浴するためには、科学の教える理法を十分にのみ込みその法則を百般の生活に応用して生活が能率化され幸福化されることであると思えます。

いまの生活はあまりに複雑にすぎ又不合理なことが平気で横行しております。

私どもの家庭でも又社会に於ても、その生活上、道徳、経済、衛生等の諸点からみて極めて缺點が多いことは長い間の因習によるものであるが又一つには精神的弛緩があるのではないでしようか。

私どもは先ず其の日常生活に対し深き反省をし生活振りを一掃緊張し、衣、食、住、社交、儀礼の上において一切の冗費を省き虚栄、虚飾を改めて質実となし生活様式を合理的に工夫し之によって活動能率を増進して一身一家を修むるは勿論ひいては社会の進歩国運の進展を囂らなければならぬ存じます。

は誰しも考えている事でありませんが実際にはなか／＼出来ていないことでもあります。生活科学化が全市民に徹底し実践されて平和な住みよし市になるには数年或は十数年を要するでしょうが要は自分個々の足もとをよく眺めると共によく反省して最もやり易い事柄をとりあげて順次実行することだと思えます。

県に於ては重点施策として昭和二十五年から生活科学化運動を実施して参りまして現在では県下各市町村がとりあげ本運動の推進に努めており本市としても県指定モデル市として本年度より発足いたし活潑な運動を展開いたすことになりました。

しかし生活科学化運動は一朝一夕に達成し得るものではなく市民と直接指導にあたる者の階えざる熱意と努力がその成果に密接な関連を持つものでありますので本市の生活科学化事業が未だにまで徹底し実施されるよう関係機関及び関係各種団体の御協力と地域活動体の活潑な実践を期待する次第であります。

尚本市がモデル部落として部門毎に指定した部落団体名及びこれまでの実績とことしの目標を次に列記いた

しましたので関係各位の絶大なる御指導を賜りたくお願い致します。

生活行事慣習等の改善

石濱公民館代表者 戸 祭 茂 義

これまでの実績

- 一、生活の計画化
- 1、定期的休日の設定
- 二、迷信の打破
- 三、因習、虚礼の廃止
- 1、門松の自粛
- 2、年始回礼の改善
- 四、葬儀諸式の合理化
- 五、祭礼、行事の合理化
- 1、祭礼の統一

ことしの目標

- 一、生活の計画化
- 1、勤労、家事と休養の分離
- 二、結婚諸式の合理化
- 三、各種会合の能率化
- 1、時間節約の能率化
- 2、集会開催の能率化
- 四、飲食の合理化
- 1、開会閉会の計画化
- 2、飲会の合理化
- 四、祭礼、行事の合理化
- 1、祭礼の統一
- 2、新旧暦の統一
- 五、因習虚礼の廃止
- 1、酒宴虚礼の廃止
- 2、酒宴虚礼の廃止
- 3、酒宴虚礼の廃止
- 4、酒宴虚礼の廃止
- 5、酒宴虚礼の廃止

衣生活の改善

高萩婦人会浜野代表者 齋 藤 み つ

これまでの実績

- 一、衣類の実用化
- 1、ふだん着の合理化
- 二、衣類の手入保存
- 三、衣類の更生利用
- 四、作業衣の改善
- 1、働き易い作業衣の研究
- 2、工夫改善及び着用体験発表

ことしの目標

- 一、衣類の計画整備
- 1、季節用途に応じた衣類の計画的調製の普及
- 二、化学繊維の利用普及
- 1、正しい扱い方の研究指導
- 三、衣類の更生利用
- 1、作業衣の合理化
- 2、乳幼児衣服の改善と普及

食生活の改善

下手綱下町第一生産組合 代表者 荒 川 千 代

これまでの実績

- 一、粉食の奨励

ことしの目標

- 一、栄養知識の普及と栄養

- 1、パン、めん類食の普及
- 二、家畜（山羊）飼育と乳の利用
- 三、保存食及栄養食の研究
- 1、料理講習会の開催
- 2、農繁期に適した栄養献立の工夫

- 食の奨励
- 1、農繁期食の改善及び保存食の研究と普及
- 2、粉食、混食に適した副食の研究と普及
- 3、栄養食運動の徹底
- 二、食用家畜等、栄養食品の自給普及
- 三、その他
- 1、合所、カマドの改善
- 2、調理器具の能率的衛生的改善

住生活の改善

下君田大川部落 代表者 鈴 木 重 忠

これまでの実績

- 一、合所、カマドの改善
- 1、改良カマドの構築
- 2、合所の採光、能率的改善
- 二、風呂釜の改善
- 1、地方燃料事情に即した風呂の改善
- 三、イロロ、コタツの改善
- 1、経済的、衛生的探燈設備の改善

ことしの目標

- 一、住生活の改善
- 1、日照、採光、間取、換気を考慮した住居の改善
- 二、防火の改善
- 1、合所、カマド、風呂釜の改善
- 2、合所の換気、採光及び能率的改善
- 三、天日利用水溜の構築及び普及
- 四、井戸及び便所の改善
- 1、衛生的飲料水の改善及び改良便所の構築
- 2、時に築家屋を対照として普及
- 四、住に関する迷信打破



不愉快なことがあつたら一人を外を散歩するか、自棄を起して疲れるまで働けがいい。それでも虫がおさまらなかつたら、第三者の親しき友にうちあけるがいい。

しかし相手に不平をもらすのは三日あとか四日あとしろ。それでもなお早すぎる。明日と云う日がきたときにいい、明日まで我慢しよう。明日まで我慢しようと思ってるうちに不愉快や不平はなくなってしまうものだ。

生活改善について

下手編 鈴木己之太郎

生活改善と言うと何んだか新しい事のように考えられる方が多いのではないでしようか。大抵むづかしいことのように考え込んで実行がうまく行かず、あれも仲々、これも駄目だと個人的にも実行面は二の足を踏みます。然し婦人会の活動に依りまして現在までに着々と衣食や台所、風ろ場等の改善が目立つて行なわれつつあります。さて高萩市に於ても今回より生活改善のモデル市として指定され、三万一千市民の幸福と発展を約束された感を深く致します。こゝで市長を吾等の船長とし生活改善の大きな荷物を満載して大海を目指し、航路の航海に船出することになりました。

今後は只いかにして立派に生活改善の針路をまらぐえずはたすことが出来るかそれは只々協力意外にないと信じます。協力は和によって生れ、この和を個人に考えて見まし、はたして各一家一戸の和があるでしようか。この和を造るにはどんな工夫をしたら良いでしようか。それは先づ生活改善の実行主義云いかえれば只協力です。

今度餅形の農道入口大森蔵先生の土地を拜借して肥溜を造ることに市に懇請いた

しました。これは市の汚物処理と農民の肥料節減が出る来談に一石二鳥だと思えます。仮に三十軒でこれを利用すると一ヶ年で一軒硫酸一俵に三万円が浮び上ります。俵に三万円が浮び上り身近な所から、この人々は生活の改善が出来るので

なたも、わたしも皆笑顔！ ところで大任ある船長さんは決つたが大切な機関士はと云えば私は青年会、婦人会の皆様をお願い致したいと存じます。 三月十日付新聞の県民の声に主婦は家族の太陽であり平和な家庭を成長させる大切な栄養素をつくと有りました。もつともな言葉だと思えます。この栄養素である婦人と青年の力以外にはないと信じます。 食糧の安定こそ平和国家の花であり、吾々は今、爽りの秋を迎えて今後の生活改善に協力致したいと存じます。

生活改善とクラブ組織

高萩地区農業改良相談所

生活改良 普及員 齋田隆子

大分前より生活改善々々様も耳にタコが出来て其の事に漫性になって来ている様に見受けられます。ある一部の生活改善には従来と少も変わりなく封建的な事が見られますが、ふりかへって見ますと、台所の改善に又青少年クラブの生活改善への考へは実に進歩致したので私達普及員は農村を歩きながら共に喜んでいる様なわけです。何事もそらでありますが一入で物事を

する事は張合もなく効果はあがりません。三人寄れば文字の知恵とか困まつた問題が起きて、それを何人かで考えれば一人で考え悩んでいるより、はげまし、慰めあつて行けばそんな苦勞せずに問題もかいつつされ、また次への発展として力強く進めるわけです。農村には自分一人を守つてかたい殿にとじこもりたがるのではないでしようか。生活改善はそれではとてもなされないのではありません。

ことに冠婚葬祭の問題などは一人ではとうてい出来な問題で何人かが集つて又部落の人達から意欲を起して町村一界一國全体といきわたるのではないでしようか。此れもむづかしい問題で戦後、物資が出廻つて、私の見る所では戦前にもどつて居る所ではないでしようか。団結という事は、こ

クラブが七月二十六日誕生致しました。会員十二名、会長引野とみ子二十三才生活改善クラブと申しまして若いながらも此れからの主婦として困らない様により生活の技術を身に付けるべく努力する事を話し合つて出来たものです。毎月定例会を月二回持つて、会合を行つて居ります。勿論会合を行つて居ります。指導に當つて居ります。



生活改善を改善するに第一に一家の和がなければならぬ。一家が和合できれば、自ずと思想も良くなる。乱れた思想を、目的を失つた生活を、そして混沌とした社会を正常な社会にとりもつためには学校教育に修身と歴史の復活を希望するものである。第二に冠婚葬祭を改善することです。それは先ず裕福な家庭から実行することだと思ふ。裕福な家庭が率先して質素にすれば自ずと一般家庭が見習うようになる。現今時に生活に苦しんで居るのは思想の悪い家庭や婚嫁の有つた家庭に多いように見受けられると思ふ。

一、新生活運動が全国津々浦々に行きわたらうとしています。この上からの呼びかけを下がりがつしりとうけとめ、これを燃上らせるものにと機関紙「生活改善」を創刊することになりました。生活改善の旗印のもとに向上の姿を遺憾なく表現してその使命を達成したいと存じます。 一、全市民の皆さん、どうか部落における生活改善活動のさまをどしく御投稿下さい。 一、またあらゆる会合で新生活の事を真剣に論議し或は地域団体や家庭で実際にやってみてその成果や、悩みや、疑問などをどしく本紙を通じて発表して下さい。 一、このような共通の広場をもつことの大切なことを痛感して創刊いたしましたのでありますから有意義に御活用下さるよう、そして次号よりの大飛躍のために一層の御激励と御協力を願います。



(農林課、畑谷保雄)